

南信州広域連合第3回広域連合会議 結果報告

日時：平成26年6月13日(金)14:02~14:55

場所：長野県飯田消費生活センター

1 開 会…14:02

【出席者】14市町村長

〔下伊那地方事務所〕有賀所長・松田副所長・丹羽地域政策課長・石田リニア推進幹

〔飯田保健福祉事務所〕北澤副所長

〔飯田建設事務所〕山岸所長

〔飯田市〕木下リニア推進部長・清水総合政策部企画課長補佐

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長

〔飯田環境センター〕米山事務長・中原管理係長

おひさま進歩エネルギー株式会社 原代表取締役

【事務局】渡邊事務局長・吉川事務局次長・塚平事務局次長補佐兼企画調整担当専門主査・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・片桐庶務係主事

2 広域連合長挨拶

エルニーニョ現象による冷夏が予測されている。農家については、昨年度、この地域の被害が大きかったということもあり、今年は平穏であることを願っていた矢先に、雹による被害が松川町等で発生した。被害に遭われた方々には改めてお見舞い申し上げます。

本日は、最初に「おひさまエネルギーファンド」に対する勧告内容について、原社長から説明をいただき、今後の対応についても情報共有ができればと思う。飯田市としては、一連の報道に関しては、やや誤解されている部分があったのではないかと捉えているが、環境への取組の一翼を担っていただいているおひさまエネルギーと、また一緒になって頑張っていきたいと思っている。

飯田市において、第1回リニア駅周辺整備基本構想検討会議が先日開催された。この場で報告させていただく。リニアに関しては、国土交通大臣からの意見書を受けて評価書が補正され、公告、縦覧となる。それを持って環境影響評価の手続は終了し、工事認可の段階に入り、いよいよ具体的な工事となる。それまでに、この地域としてしっかりとした対応をしていければと思う。

3 協議事項

(1) おひさまエネルギーファンドに対する勧告報道について（資料1）

…おひさま進歩エネルギー株式会社 原代表取締役

弊社について、報道等でご心配をかけお詫び申し上げます。5月23日、関東財務局長より、第二種金融商品取引業者として業務改善命令を受けた。指摘の主な内容については、一つ目として分別管理についての問題。出資者からの資金や保有財産を管理する口座と、事業会社の口座を分けて管理する必要があること。二つ目として虚偽報告の問題。昨年7月に関東財務局長へ提出した報告書において、「分別管理は行われている」と報告していたが、今回分別管理されていないとの指摘を受けているため、報告が虚偽に当たるとのこと。弊社ではファンドごとに会社を設立して、分別管理をしているとの認識でいたが、もう少ししっかりやらなければならないと指摘された。

証券取引等監視委員会の検査結果を受け取る際に、「私的な流用や資金の消失は認められない。また、実態のない事業に対する出資募集ではなく悪質なものではない。ファンド社を始め再生可能エネルギー分野の健全な投資が進むことを期待して、改善を促すための勧告である。」と伝えられた。現在、改善命令に従い、業務改善計画を策定中である。コンプライアンスの強化や人的配置の強化等を

行う。

今後の事業運営や出資者への配分は、計画通り実施する予定である。これを機に、更に信頼される地域エネルギー会社として運営していく所存である。

【質疑なし】

(2) 飯田市第1回リニア駅周辺整備基本構想検討会議について（資料2）

…資料による説明（木下リニア推進部長）

5月30日に開催した第1回会議について報告させていただき、協議をお願いしたい。会議の内容、出席者については配付資料のとおり。この会議の会長は、都市づくりパブリックデザインセンター理事長の小澤一郎さん、副会長は佐藤飯田市副市長。広域連合と伊那谷自治体会議から意見を伺う中で進めていく。

会議に当たり、リニア中央新幹線の概要と長野県リニア活用基本構想の説明がされた。県の基本構想の38ページ「めざす駅の姿」には、「長野県らしさ・伊那谷らしさが感じられ、多様な交流の要となるリニア駅」という考え方が示されており、こういった説明をした。資料4では、全体の流れ、地域づくりの取組について説明した。一番最後の資料「構想の基本的な考え方の整理」が当日検討した内容をまとめたものである。課題や視点を踏まえて具体的な検討事項を整理した。①の交通結節では、公共交通との乗換機能を検討する。②の道路網では、中央自動車道や153号線とのアクセス整備等について検討する。③の駅周辺整備では、サービスや機能、景観や土地利用の誘導、規模や防災機能、高架下の活用等について検討する。道路網については国や県がそれぞれの立場で検討しているので、それらを踏まえていくことになる。

今後は作業部会を設け、専門家等も交えて検討していく。基本構想は今年度末までに形にしたいと考えているが、具体的な検討内容については秋を目途に形にしたい。その都度この場でご協議いただきながら進めて参りたい。

【質疑】

・周辺町村の一番の関心は、道路網の整備方針がいつ具体化するのかということ。駅と各地域がどれだけ早く結ばれるかが大事。アクセスが決まってくれば、それぞれの町村がどんな地域にしていきたいのか画を書ける。

→駅からのアクセスは重要な問題で、会議の中でも意見が出ていた。道路については、いくつか検討会議があるのでそちらに検討をお願いしていきたい。

→（連合長）リニアを活かした地域づくり勉強会の中でも、アクセス道路を誰がどこまでやるのが大事であるという認識はみんな持っている。それに平行して、ここでも示していければと思っている。

・物事は最初が肝心。リニア駅は長野県に一つしかない。南信州だけでなく、伊那谷という広いロットで考えていかないと将来の発展はない。その方策の一つとして153号線に大いに力を入れることはもちろんだが、151号線も最初からその声を入れておかないとまずい。南信州の西南部よりも駒ヶ根からの方が駅に早いということになる。段々に考えるのではなく、最初に線を引いて用意しておくことが重要。

→そういったことも踏まえて検討していく。

・駐車場はどれくらいの規模なのか、土地利用はどうするのか等をできるだけ早く示してもらいたい。

→できるだけ早く「形」を見せたい。

・先日の部会でも、南信州の全ての人が利用しやすいような環境をつくって欲しいという意見が出ていた。いろいろな会議があっても、誰が責任を持って集約するのかという部分がうまくなかった。どういった組織があるのか整理しないと進まないのではないか。この会議は「駅周辺整備」についてのものであり、道路について、やらないならやらないではっきりさせた方がよい。

→（事務局長）各検討組織については昨年度に整理した経過があるが、具体的に進んできていることもあるため、整理し直してお示しする。

(3) 基本構想・基本計画策定について（資料NO. 3）

…資料による説明（塚平次長補佐）

6月1日に開催した、第3回策定委員会の報告。最初に基調講演として、野村総研の山口高弘氏を迎え「地域の目指すイノベーションとは、イノベーションを起こす条件とは」という題でお話をいただいた。これまでわたしたちが陥りがちであった手法について、発想の転換、柔軟な発想でのアプローチといった大変参考になる話であった。

その後、分散会という形で5つのワーキンググループに分かれ、「地域の将来像」というテーマで話し合ってもらった。主な意見については「現状と課題」「将来像」にわけてまとめた。次回の第4回策定委員会においても引き続きテーマを設け、分散会を行うことで構想の基本としていきたい。なお基調講演として、元山梨放送のアナウンサーで、山梨県観光大使である外川智恵さんをお招きする。構成市町村から選出いただいた委員の皆様にも引き続きご協力いただく。

【質疑なし】

(4) 救急車の現場到着遅延について（資料4）

…資料による説明（桂消防長）

概要として、119番通報を受信した後に出勤した高森消防署の救急車が、実際に出勤した場所と傷病者がいた場所が異なっており、再度場所の確認をして現場に向かったため、最終的に到着時間が10分ほど遅れたという事案。搬送時には意識があったが、病院到着後、死亡を確認している。

この件については、各市町村、議会議員の皆様にご報告すると共に、記者発表、記者会見を行った。

昨年度整備した指令台は、通報があると位置情報システムにより加入者情報や携帯電話の位置情報が即座に示される。早期の出勤につながり大変有効である。しかしNTTの加入者情報はまれに違うことがあり、指令係員もそのことを理解している中で、住所氏名を聴取するなど再確認をした上で出勤したが、通報者が慌てたという状況の中で160mほど離れた場所に出動してしまった。

再発防止策として、加入者情報を基に、住所氏名に加えて目標物や隣接住宅等を確認することを徹底している。また、指令係員の再教育や出勤する救急隊員等にも再発防止の徹底を図っている。住民の皆様に対しても、落ち着いた正確な119番通報を行うよう広報に努めていく。

この件については、8月予定の議会全員協議会においてご報告させていただく。

【質疑なし】

(5) 針刺し式柿むき機で加工された「市田柿」の扱いについて（資料5）

…資料による説明（秦野次長補佐）

市田柿ブランド推進協議会で、この度「市田柿」の扱いについて決定された事項の説明。平成28年度産より完全脱針化とし、針を使って皮むきをする物については、平成28年度より協議会の加盟団体では市田柿として取り扱わないことになる。

経過措置として、平成26年度産より、針刺し式の皮むき機で加工された市田柿にはブランド協議会の商標マークを添付しないことで区別し、品質管理を行っていく。

【質疑】

・真空式と針刺し式があるが、アタッチメントの交換等で対応できないのか。高価な機械なので、生産者の立場になって経済的なことも考慮すべきでは。

→協議会の担当者に伝える。

(6) 公共工事の品質確保促進に関する講演会について（資料6）

…資料による説明（渡邊事務局長）

一昨日、天竜川上流河川事務所の副所長が来庁され、資料6にある講演会への職員参加にご配慮いただきたいとの話があった。別途、事務局から各市町村へ要請を出させていただく。可能であれば、マイクロバスにまとまって乗って行きたいのでご承知置きを。

【質疑なし】

- 4 長野県から「特殊詐欺非常事態宣言」発令に伴う高齢者世帯への訪問啓発について
…下伊那地方事務所 丹羽地域政策課長の説明

特に被害に遭いやすい高齢者世帯に対し、警察では一人暮らしの高齢者を対象に、個別訪問による啓発を行う。各市町村においても、一人暮らしの高齢者以外の高齢者世帯を中心に啓発活動への協力をお願いする。具体的には、各市町村の担当課長に、地方事務所又は消費生活センターの職員が伺い説明させていただく予定。

【質疑】

(別件について)・「南信州地域戦略会議」は今どうなっているのか。

→地方事務所が中心となって、この地域の戦略を考えるということで、組織としては存続している。地方事務所の施策提案を検討するに当たっては、今後も活用させていただくこともある。また、ご要望があれば開催する。

→(事務局長)基本構想・基本計画の策定委員として、地方事務所からも職員を出していただいている。特に基本計画の中で具体的な部分については、県、地方事務所と相談しながら一緒に進めていく。

- 5 今後の日程
6月25日(水) 南信州地域交通問題協議会 総会
場所 飯田消費生活センター
時間 午後2時00分～
7月16日(水) 広域連合会議 合庁502・503
- 6 閉会…14:55